

県立農林水産技術総合センター機関評価集計表

評価項目	評価シート 頁	関連 部会	内部評価 平均点			外部評価 平均点				
			小項目	中項目	大項目	小項目	中項目	大項目		
1 試験研究・事業の重点化方向・取組										
(1)試験研究分野の重点化方向										
①ひょうごの農林水産業の未来につながるスマート技術の開発	1) 施設園芸における革新的な技術 2) 露地栽培における革新的な技術 3) ICTやAI等を活用した高度管理技術	野菜	1	農	3.3	3.3	3.4	3.2	3.3	3.6
		花き	1	農	3.4			3.3		
		主作	2	農	3.6			4.1		3.8
		野菜	2	農	3.4			3.6		
		土壤環境	3	農	3.1			3.3		
		病害虫	3	農	3.3			3.8		
		乳用牛	4	畜	3.1			3.4		
		省力管理	4	林	3.4			3.6		
		漁海況データ等の効果的な取得・発信（瀬戸内海）	4	水	3.6			4.1		
		漁海況データ等の効果的な取得・発信（日本海）	5	水	3.6			3.4		
②ブランド力の強化につながる新価値の創出と品質向上技術の開発	1) 県オリジナル品種の育成	主食用米	5	農	4.4	3.9	3.7	4.7	4.1	4.0
		酒米	5	農	3.6			3.7		
		大豆	6	農	4.0			4.3		
		野菜	6	農	3.9			4.0		
		養殖	7	水	3.8			3.9		
	2) 品質を高める、利用を促す技術	主作	7	農	3.8	3.6	3.7	4.2	3.9	4.0
		野菜	7	農	3.5			3.8		
		但馬牛	8	畜	3.6			3.8		
		木材加工	9	林	3.8			3.9		
	3) 新たな価値を創出する加工流通技術	農産加工	9	農	3.3	3.5	3.7	3.6	3.9	3.5
		水産加工	10	水	3.6			3.9		
		農産物流通	10	農	3.5			3.7		
		水産流通	11	水	4.0			4.3		
		野菜	11	農	3.1			3.4		
③経営の強化につながる生産性向上技術の開発	1) 収量を向上・安定させる技術	花き	11	農	3.1	3.3	3.3	3.1	3.5	3.5
		果樹	12	農	3.4			3.6		
		但馬牛	13	畜	3.4			3.7		
		乳用牛	13	畜	3.1			3.3		
		養殖	14	水	3.6			4.1		
		主作	14	農	3.4			3.8		
	2) 生産コストや労働負荷を軽減する技術	花き	14	農	3.0	3.3	3.3	2.9	3.4	3.5
		作業改善	15	林	3.2			3.3		
		品種選定	15	林	3.4			3.7		
		種苗生産	15	林	3.4			3.3		

			内部評価 平均点			外部評価 平均点						
評価項目			評価 シート 頁	関連 部会	小項目	中項目	大項目	小項目	中項目	大項目		
④生産の持続性確保等につながる環境適応技術の開発	1) 地球温暖化に対応する技術	主食用米	16	農	4.0	3.4	3.6	4.2	3.6			
		酒米	16	農	3.6			3.4				
		大豆	17	農	3.5			4.0				
		気象適応	17	農	3.3			3.1				
		野菜	18	農	3.1			3.4				
		果樹	18	農	3.3			3.7				
		花き	18	農	3.3			3.3				
		土壤	19	農	3.5			3.2				
		病害虫	19	農	3.4			3.7				
		乳用牛	20	畜	3.1			3.4				
		養殖	20	水	3.6			3.6				
④生産の持続性確保等につながる環境適応技術の開発	2) 環境負荷軽減と生産性が両立する技術	主作	21	農	3.1	3.2	3.4	3.1	3.6	3.6		
		土壤	21	農	3.3			3.3				
		病害虫(虫害対策)	22	農	3.0			3.4				
		病害虫(病害対策)	22	農	3.3			3.3				
		病害虫(突発的な事例への対応)	23	農	3.5			3.7				
		病害虫(残留農薬対策)	24	農	3.3			3.3				
	3) 自然環境・漁場環境に対応する技術	主食用米	24	農	4.1	3.6	3.8	4.4	3.8			
		酒米	25	農	3.6			4.0				
		大豆	25	農	3.6			3.7				
		山地災害防止	26	林	3.4			3.9				
		森林保全・再生	26	林	3.2			3.6				
		漁場環境(瀬戸内海)	27	水	3.8			4.1				
(2) 将来を見据えた研究へのチャレンジ	4) 資源の持続的利用につながる技術	漁場環境、漁獲動向や生態情報の把握(日本海)	27	水	3.4	3.5	3.7	3.3	3.7			
		主作	27	農	3.5			3.8				
		野菜	28	農	3.5			3.7				
		資源管理手法・資源増殖(瀬戸内海)	28	水	3.6			3.9				
		漁場整備及び資源管理(日本海)	29	水	3.4			3.3				
	(2) 将来を見据えた研究へのチャレンジ	農業分野	30-31	農	3.4	3.3	3.7	3.9	3.7			
		畜産分野	32	畜	3.3			3.7				
		林業分野	33	林	3.2			3.7				
		水産分野	33	水	3.4			3.7				
2 試験研究・事業の推進方策												
(1) 研究マネジメント機能の充実等												
①技術移転に向けた取組の徹底	33-34			共通	3.6	3.5	3.5	3.6	3.5			
②効果的・効率的な研究評価システムの構築	35			共通	3.3			3.2				
(2)人材の育成	35-37			共通	3.4			3.4				
(3)施設・設備の効果的な活用	37			共通	3.4			3.2				
(4)产学官連携と外部資金の活用の推進	38			共通	3.9			3.9				
(5)知的財産の創出と管理及び有効活用の推進	39			共通	3.3			3.6				
(6)研究成果等の発信と広報	40-41			共通	3.4			3.6				